

令和5年7月24日(月)14:30~15:10

場所 裾野高校 会議室

静岡県立裾野高校 第2回学校運営協議会 議事録

1 校長 挨拶

田代直彦校長 挨拶

2 議事(司会 高橋会長)

(1) 令和5年度教育活動計画中間報告について

①教務課

ア 新教育課程における学習意欲の向上については2学期にアンケートを実施する。

イ ICT活用については教員研修を随時進めていく。

ウ 基本的な生活習慣の確立については、前年度より遅刻欠席などについて減少させることを目標としているが、今年度は残念ながら昨年度を上回っている。コロナの影響からか、遅刻や欠席することに対して罪悪感のようなものを生徒があまり感じていないように見受けられる。今後も粘り強く指導していきたい。

②生徒課

ア 基本的な生活習慣の確立に向けた指導については、学年ごとに学期に2回程度行うようにしている。茶髪など課題はあるが指導を継続していく。

イ 生徒会活動や部活動の活性化については、学校祭(五龍祭)については、入場制限なく実施することができた。陸上部が東海大会出場、女子テニス部、囲碁将棋部、美術部などが県大会出場など頑張ってくれた。球技大会などできるだけ生徒主体の運営ができるように指導していく。

ウ 交通安全指導について、警察とも連携しながら、継続して行っていく。

エ 携帯電話の不適切な使用については、SNSが関係した問題行動が散見された。全校集会で注意喚起を促したり、携帯依存については外部業者を活用したりして指導していく。

③進路課

ア 3年生は進路決定の大事な時期なので、面接練習を随時行っているが、取り組む姿勢は非常に良い。進学希望者については全教員に担当生徒を割り振り、きめ細やかな指導を行っている。

イ 進学補講も、希望者に放課後補講を行い進路実現に向けて生徒も頑張っている。

ウ 進路行事の充実について、コロナの影響もなくなり全学年計画通りに実施できている。2年生のインターンシップについては44名の生徒が希望しており、実施に向けて準備を鋭意進めている。

エ 学力向上のための充実については、3年生については放課後補習を実施している。

1・2年生については、2学期以降に模試受験希望者の増加を期待している。

④保健相談課

- ア 基本的な生活習慣の確立について、コロナについては様々な規制が緩和されたが、感染予防の呼びかけを随時行っている。
- イ 健康診断の確実な実施と事後指導の徹底については、再検査が必要な生徒には書面を配布して再検査を促すなど治療率の上昇に向けた取り組みを行った。
- ウ スクールカウンセラーなど外部との連携の推進については、本校生徒は利用状況がとても多く、一定の効果を上げていると思われる。また、通級指導もおこなっており、対象生徒の社会性向上、コミュニケーション能力の向上など効果がみられている。また、様々な特性を持つ生徒への接し方についての教員研修も行った。

⑤総合学科広報戦略室

- ア 系列の特色を活かした情報の発信については、学校案内パンフレットの作成などを行うことができた。2学期以降、中学へのより一層の広報活動の強化を検討していく。
- イ オープンスクールや中学生一日体験などの行事の充実について、中学生に向けて大事なアピールの場となるので、全教員でより良いものを構築実施していきたい。
- ウ 生徒主体の広報活動については、総合学科の研究発表大会もあるので、それがより良いものとなるべく「裾野の未来」というテーマで生徒と共に随時頑張っていく。

⑥キャリア教育推進室

- ア 本校の行動規範である「挑戦」・「変化」・「地域貢献」を実践すべく、市役所や外部講師人材と連携して、様々な活動を実践していく予定である。また、今年度はソーシャルスキルトレーニングを高めるべく1年生についてはプログラムを組んで実施中である。
- イ ICTの有効利用については、キャリアの時間において、パワーポイントの活用スキルを予想以上に向上させることができた。また、Cラーニングの導入と活用により、アンケート調査なども短時間で実施・集計ができ教員の負担も軽減した。
- ウ 要望として、キャリアの時間の生徒成果物を保管しておくキャリアルームのようなものを校内施設としてどこかに新たに設置できれば推進室としては非常にありがたい。

⑦総務図書課

- ア PTA活動の充実については、PTA総会や緑化作業については予定通り実施することができた。2学期実施予定のクロスカントリー大会の運営補助については例年どおり運営補助をしていきたい。
- イ 式典の充実については、コロナも収束してきたので、招待する来賓も従来通りに戻していければと考えている。
- ウ 防災計画については、例年以上のより緻密な細かい計画を立てている。地域防災訓

練の高校生の参加率を上げるべく生徒に呼びかけをして意識向上に努めたい。

エ 朝読書については、一人一台端末の導入に伴い、端末を用いて朝読書を電子書籍で行えるかどうか検討中である。

(2) その他の事項について

ア 1年生のキャリアの時間については、地域課題を考えていくためのスキルを身に付けさせたい、という狙いのもと「engine」という探究スキル向上プログラムを導入した。

イ ホームページの改修については、事務室職員を中心に新しくリニューアルをしていく。

3 令和5年度教育活動計画中間報告についての質問など

志田委員 不適切なスマートフォンの使用とは、具体的にはどういったものか？

福室教頭 生徒が許可なく、写真や動画などをインスタグラムにアップする、という行為です。

稲垣委員 自転車通学の生徒のヘルメット着用率を学校側は把握しているか？

福室教頭 把握はできていない。

稲垣委員 中学生はヘルメットを着用しているが、高校生の着用率が低い。高校でも着用するよう指導してほしい。

福室教頭 わかりました。

小田委員 裾野西中はヘルメット着用が義務付けられている。東中は自転車通学者がいないから、中学校によって状況が異なるが、事故被害軽減のためにも着用指導をお願いしたい。

田代校長 沼津地区で4月の着用率は3%。大人も含めてその程度だが、義務化も予想されるので、本校においても指導していきたい。

小田委員 ドイツは着用が当たり前だから、社会全体がそうならないと日本ではまだまだこれからだと思う。

稲垣委員 数年前に裾野高校生が自転車事故で亡くなっていることもあるので、高校には着用するよう指導して欲しい。

高橋会長 国の法整備が望まれる。罰則がないとなかなか難しい面があると思うが、命のことなので、学校側には指導をしてもらいたい。

志田委員 資料の欄外に校則の一部廃止とあるが、これは具体的には何をさすのか？

福室教頭 男子生徒のツーブロックの取り扱いをどのように指導していくか、という問題です。現実にはなかなか難しい側面もあり、就職試験に際して、企業側からマイナスイメージで取られる場合もあるので、進路課としては、ツーブロックはやめてもらいたいというのが本音。ただ、全国的にも校則の見直しをすすめている風潮がある中で、どうしたものか悩んでいるというのが実情です。

高橋会長 裾野市内中学校が制服を統一するなどしているが、高校では制服の廃止などはどのような感じでしょうか？

福室教頭 制服廃止については、ごく少数意見としてあるが、女子生徒のスラックス導入など、より多様な選択肢のある制服にしている。スラックスについては女子生徒で、着用している生徒は普通にいる。

高橋会長 家庭環境によっては制服購入が経済的負担になるご家庭もある。制服を廃止してほしいというわけではないが、そうした家庭の負担をできるだけ軽くする良い手立てがあれば、皆さんのお知恵をお借りしたい。

小田委員 指定のバックはどういう経緯で廃止したのか？

福室教頭 指定のバックを使わない生徒への指導が大変であるとの教員の声や、指定のバックを背負う形で自転車通学する生徒が見苦しい、御殿場線の車内で背負う生徒が混み合う車内で邪魔である、といった市民の苦情もあって、令和3年度から指定のバッグを廃止しました。

小田委員 指定バッグ廃止の悪影響はあるか？

福室教頭 特にないと聞いている。

小田委員 ツーブロックとフェードの違いや、就職活動への影響を考えると指導も難しいですね。

高橋会長 人は見かけじゃないと言いますが、そうはいつでも見かけも大事ですからね。

小田委員 広報活動について質問です。中学校との関係を大事にしていくことは当たり前ですが、裾野高校のファンを増やしていくために、中学生の保護者で裾野高校のために頑張って広報活動に協力してもらえる保護者を何とか確保できないものか？トークフォークダンスに参加してくれる保護者数もまだまだ少ない。保護者にはトークフォークダンスに参加することにより、様々な教育効果があることはもちろん、就職や進学などにも良い影響をめぐり巡って与えることも考えてもらえればありがたい。今の2年生、3年生のときのトークフォークダンスの参加者募集のやりかただと、学校側への負担も大きい。

1年生の生徒1名につき、保護者が1人参加してくれるだけで、負担も少なくトークフォークダンスが開催できる。裾野高校の魅力を増やすようなマインドを持った保護者を増やすだけで、裾野高校の志願者増にもつながるかもしれないな、と感じました。どのような方法があるか検討したり、お知恵があれば伺いたい。

稲垣委員 トークフォークダンスについては、PTAの役員さんに声かけをしたらどうだろうか。役員さんなら前向きに取り組んでいただけるのではないかな。

4 学校の現状について

- 校 長 C ラーニングを導入して生徒・保護者向けには、三者面談の日程調整を C ラーニングで行うなど、学校業務の IT 化を進め、業務の軽減化を図っている。また、1・2年生の一人一台端末の導入に合わせて、教員の ICT 機器活用力向上のための研修を開くなどしている。
- 高橋会長 授業の中でどれだけ一人一台端末を活用するかが、肝要になるかと思しますので、先生方の端末の授業における活用能力の向上に努めていただきたい。
- 校 長 全校生徒が一斉にクロームブックを使うと、Wi-Fi の容量の関係で通信に不具合が生じる場合もあるので、ハード環境の整備も随時進めていきたい。
- 事務長 新館の1階に今年度は整備をして、来年度は2階を整備する計画です。
- 稲垣委員 中学生1日体験の参加予定者はどれくらいか？
- 広報戦略室 約280人ほどです。昨年度は300人弱です。
- 志田委員 学校裁量枠について来年度入試に向けて変更はあったのか？
- 副 校 長 柔道と男子バレー、男子バスケットボールを取りやめました。
- 小田委員 学校側の判断なのか、顧問の申し出なのか？
- 副 校 長 やはり、専門技術指導できる教員がいないというのが最大の理由です。
- 志田委員 毎月、発行されている広報誌「ブカツ」が地域の回覧板で回ってくるのですが、1月どうしても遅れて回覧されている。やむを得ない事情があると思うが、行事予定なども含めて、極力早く回覧していただけるとありがたい。
- 稲垣委員 可能であれば、運営協議会のメンバーには郵送していただけるとありがたい。
- 広報戦略室 郵送いたします。

5 意見交換

- 小田委員 一番気になるのは志願者数の減少です。3クラスになってしまうのか、4クラス現状キープできるのか？学校側はどのように考えていますか？
- 校 長 正直、全然わからない。しかし、校長としては4クラスで募集できるように全力を尽くすのみである。
- 小田委員 2年連続、定員割れをしているので、クラス減にされないかとても心配している。
- 校 長 県全体で、毎年、20クラス程度減少している現状がある。どこの県立高校も定員割れが起きないように努力をしている。裾野高校もあらゆる手を使って中学生に選んでもらえるような魅力ある高校に今以上にしていきたい。
- 小田委員 3クラス定員になってしまったら、志願者数が100人を割ってしまうケースも十分に考えられるのでその点を憂慮している。中学生に裾野高校を進学先に選んでもらうためにどういった動機づけを提供できるのか？授業料無償化にあわせて、私立高校に中学生が流れていく現実がある中で、今後、裾野高

校はどうしていくのか。それを議論していきたい。そのために裁量枠で地域貢献枠を設置したので、この1期生が3年生になり、どのような卒業後の進路先になるのかは、非常に大きな意味を持つと思う。そこで、学校には1期生の進路先、進路実現に向けて全力を尽くして支援、指導をしてもらいたい。

地域貢献の裁量枠で入学した生徒たちは、地域貢献活動で新たな価値を創造し、卒業時には、AO入試などで4年制大学などに進学できれば、というのを念頭に置いていた。ただ、最近の入学生を見ていると以前よりも地域貢献への意欲が少し弱まっている生徒も散見される。野球の裁量枠で入学した生徒は、当然野球部で頑張る。だから、地域貢献の裁量枠で入った生徒も土日の活動も含めてしっかりと活動していくという、当たり前の雰囲気や学校としての指導体制を構築していく必要があると思われる。

地域貢献で活躍した生徒たちが中学校向けの説明会で地域貢献の裁量枠について説明できるように、高校側には前向きに検討してほしい。正しい情報が中学生に十分に届いていないように思われる。さらに地域枠を増やして欲しい。裾野高校といえば、地域貢献枠の生徒の活躍が当たり前のように語られる高校になっていってほしい。

「学科への適正」という裁量枠の入試要項の表記の仕方だが、いまひとつ、わかりにくい。この呼称や表記のあり方も検討してほしい。

校長 県教委にも確認します。

小田委員 池新田高校は地域貢献枠と銘打っているのでわかりやすい。中学の保護者視点でいうと、中学生が地域に人的ネットワークを持ち、地域で新たな価値を創造する活動をしていることが高校入試において、評価されるというのは一つの武器にもなりうることであり、中学生も裾野高校を選ぶ一つの要素となりうると思うので、表記や入学後の指導体制も含めて検討してほしい。

中学校の先生たちに、地域貢献といえば裾野高校だねって言ってもらえるような裾野高校になってほしい。

稲垣委員 一日体験入学や中学生向け高校説明において、裾野高校をおおいにアピールしてもらって、定員割れが続いている状況を少しでも改善できるよう先生方には頑張ってもらいたい。

志田委員 定員の確保。これが一番。自分にできることや何かあれば、お手伝いさせてもらうので、先生方にも頑張ってもらいたい。

稲垣委員 一日体験のときに、トークフォークダンスを紹介すれば、中学生の保護者ももしかしたら参加してくれるかもしれないので、ぜひ、PRしてください。

志田委員 トークフォークダンスはとても好評である。

小田委員 裾野高校の卒業生も参加予定であり、喜んで参加できる場にもなっている。今年度の中学生一日体験にもトークフォークダンスのチラシは中学生にも配布し

ますか？

広報戦略室 配布します。

高橋会長 より良いトークフォークダンスになるように、皆様のご協力をよろしく願いします。

6 諸連絡

副校長 では、次回の学校運営協議会ですが、秋に次回開催する方向にいたしましょう。授業参観と意見交換という内容で実施していきたいと思います。オープンスクールが11月に予定されておりますので、ご都合がつけば参観していただけると幸いです。